

## NEWS RELEASE

報道関係者各位

2023年11月11日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

# 東進だけ！ 国公立 177 大学・2,276 学部<sup>[学科・方式別]</sup>の「情報Ⅰ」利用・配点を検索 【毎日更新】2025 新課程・大学学部別 「情報Ⅰ」利用状況(国公立編)ウェブ公開

東進ハイスクール・東進衛星予備校を運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸)は、2025年からの新課程入試の大学入学共通テストで新たに追加される「情報Ⅰ」について、全国の国公立大学の入試での利用状況や配点を検索できる『大学別「情報Ⅰ」利用状況—大学学部別「情報Ⅰ」配点一覧—』のウェブサイトを公開いたしました。

掲載情報は毎日更新しており、2023年11月10日現在、177大学・2,276学部[学科・試験方式別]の情報を掲載しています。各大学が順次公表している2025年新課程入試の「情報Ⅰ」の利用状況をまとめ、一覧で確認・検索できるウェブサイトは東進だけです。新課程の大学受験に臨む高校生はもちろん、ご父母や高校の先生にもご活用いただけるウェブサイトです。会員登録などは不要で、誰でもご利用いただけます。

大学基本情報		○課す、●必須、△選択、×課さない	情報導入状況			配点情報				更新状況					
設置区分	大学名	所在地	共通テスト	必須	一部必須	課さない	配点	共テ満点	比率	2次満点	共テ+2次合計	合計比率	備考	最新更新日	大学公式HP
国立	旭川医科大学	北海道	●医-医(前)	1			20	570	351%			27%		2023.3.16	リンク

## 《A:『大学別「情報Ⅰ」利用状況』3つの特長》

東進だけの  
「情報Ⅰ」まとめサイト

### 1. 全国の国公立大の情報を一元化！ 大学学部別に検索できる

2025年新課程入試における大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の導入予定・配点等の情報は、各大学のウェブサイトで順次公開されています。東進では、それらの情報を収集して一元化。『大学別「情報Ⅰ」利用状況』のウェブサイトに一覧としてまとめ、大学名や都道府県で検索できるようにしました。

### 2. このサイトを見れば“今”がわかる！ 最新情報に毎日更新

志望校のウェブサイトを自分で日々チェックして新たな情報がないか確認するのは一苦労ですが、毎日情報更新している『大学別「情報Ⅰ」利用状況』なら、“今”の最新の情報がわかります。一覧には最終更新日や出典元の大学HPへのリンクも掲載されているので、更新されたら大学HPで詳細を確認するとよいでしょう。

### 3. 「情報Ⅰ」をどのくらい重視している？ 配点比率もわかる

大学学部によって共通テスト全体の配点に占める「情報Ⅰ」の比率は0%から100%までと大きく異なります。『大学別「情報Ⅰ」利用状況』では、各試験方式の「情報Ⅰ」の配点と共通テスト満点を比較。共通テストにおける「情報Ⅰ」の比率を算出しています。さらに2次試験も合わせた総合点の中での「情報Ⅰ」の配点も算出しており、気になる大学学部が「情報Ⅰ」をどのくらい重視しているのかを確認できます。

#### 《B:『大学別「情報Ⅰ」利用状況』の活用方法》

『大学別「情報Ⅰ」利用状況 ー大学学部別「情報Ⅰ」配点ー一覧ー』ウェブサイト

[https://www.toshin.com/shingaku\\_info/shinkatei/search.php](https://www.toshin.com/shingaku_info/shinkatei/search.php)

東進ドットコムのトップページからアクセスできます。



### 1. 一覧で志望大学の「情報Ⅰ」利用状況・配点をチェック！

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

大学基本情報			●必須、△選択、×課さない	情報Ⅰ導入状況			配点情報					更新状況			
設置区分	大学名	所在地	共通テスト	必須	選択	課さない	配点	共テ満点	共テ比率	2次満点	共テ+2次合計	合計比率	備考	最新更新日	大学公式HP
国立	山梨大学	山梨県	●生命環境-生命工〈前〉	1			100	1200	8.3%	300	1500	6.7%		2023.11.1	<a href="#">リンク</a>
国立	山梨大学	山梨県	●生命環境-生命工〈前〉	1			100	900	11.1%		900	11.1%	2次：共テ+面接	2023.11.1	<a href="#">リンク</a>
国立	山梨大学	山梨県	●生命環境-地球食物科学〈前〉	1			50	800	6.3%	400	1200	4.2%		2023.11.1	<a href="#">リンク</a>
国立	山梨大学	山梨県	●生命環境-地球食物科学〈後〉	1			50	1000	5.0%		1000	5.0%	2次：共テ+面接	2023.11.1	<a href="#">リンク</a>
国立	山梨大学	山梨県	●生命環境-環境科学〈前〉	1			100	1000	10.0%	500	1500	6.7%		2023.11.1	<a href="#">リンク</a>
国立	山梨大学	山梨県	●生命環境-環境科学〈後〉	1			100	1000	10.0%		1000	10.0%	2次：共テ+面接	2023.11.1	<a href="#">リンク</a>

①大学基本情報…設置区分、大学名、所在地などの基本情報です。

②入試区分・共通テスト…学部学科・前後期等の入試区分と、その方式において共通テスト「情報Ⅰ」が必要かどうかを、●：必須、△：選択、×：課さないで示しています。

③情報Ⅰ導入状況…共通テスト・2次試験含めて「情報Ⅰ」の試験を課すかどうかを、必須・一部必須・課さないに分けて表記しています。

④配点情報…「情報Ⅰ」の配点と共通テスト全体の満点、共通テストにおける「情報Ⅰ」の配点比率を示しています。さらに2次試験満点および共通テスト+2次試験の満点を掲載し、共通テスト+2次試験における「情報Ⅰ」の配点比率も示しています。試験科目や科目選択などの特記事項は備考に記しています。

⑤更新情報…最終更新日と大学公式HPへのリンクが掲載されています。

## 2. 大学名や都道府県で検索できる！

① 大学名で検索

② 都道府県で絞り込み

選択してください

検索 検索条件をリセット

①大学名で検索…気になる大学を入力して検索できます。

②都道府県で絞り込み…都道府県を選んで絞り込み、同一都道府県内の大学をまとめて確認したり、比較したりすることができます。

## 3. 「情報 I」に関する全体概観を知る！

「情報 I」の導入に関する全体概観を、大学情報・入試情報のページ (<https://www.toshintimes.com/nyushi-info/>) で公開しています。多くの国公立大学で導入が予定されていますが、現時点ではほとんどの場合が共通テストの「情報 I」を利用する形で、個別試験で独自問題を用意する大学は少ない状況です。東進では、今後も「情報 I」や新課程入試に関する様々な情報を発信してまいります。

東進 大学情報・入試情報 TOSHIN TIMES

【毎日更新】共通テスト  
各大学における情報 I 利用状況 (国公立編)  
(2023.11.08)

現在の高校の授業は2022年度から改訂された新しい学習指導要領に基づいている。したがって、現在の高2生が大学を受験する2025年度入試からは、新学習指導要領で学んだ生徒を対象とした新しい入試が行われることとなる。

ここでは2025年度入試について各大学が現在までに公表している変更予定を紹介する。

「情報 I」については、多くの大学で導入が予定されている。現時点ではほとんどの場合が共通テストの「情報 I」を利用する形であり、個別試験で独自問題を用意する大学は少ない。

共通テスト「情報 I」の受験を認めるか

他教科と選択	受験必須
3	79

国立大学 82

国立大学82大学の内  
79大学(96.3%)は受験必須※  
うち80大学は全て受験必須！  
「情報 I」を全く課さない受験した  
大学は0！

大学案内  
新課程入試情報  
2025年度新課程入試  
全国  
学校の雰囲気  
2025年度新課程入試  
大学入試準備  
大学入試  
大学入試  
大学入試

### 【株式会社ナガセについて】

1976年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。シェア NO.1 の『予習シリーズ』と最新の AI 学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進ハイスクール中学部」「東進中学 NET」、総合型・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンクや大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。2022年9月には、幼児～中学生対象の世界標準のプログラミング学習「東進 CODE MONKEY」を新たに開講しました。

また、東京五輪個人メドレー2冠の大橋悠依選手をはじめ、のべ47名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com